



特定非営利活動法人 持続可能な開発のための教育の10年推進会議(ESD-J)

〒160-0022 東京都渋谷区神宮前5-53-67コスモス青山 B2F

TEL : 03-3797-7227 FAX : 03-6277-7554

e-mail:admin@esd-j.org

URL:www.esd-j.org

## G8 洞爺湖サミットへの提言 「持続可能な社会へのメカニズムづくりを急げ」

国連の持続可能な開発のための教育の10年(DESJ)を推進する日本のNGOであるESD-Jは、アジアの仲間たちと2年余に渡って、持続可能な社会を目指して取り組まれている諸事例を収集共有するプロジェクトを展開してきた。この仲間たちが、今回G8洞爺湖サミットに合わせて東京で集中的な討議を行い、この提言をまとめた。

### 提言

近年の急激な社会経済活動の拡大によって、アジア各地の自然・社会構造が大きく変わり、格差が広がり、伝統的な知恵が次々に消えつつある。しかし、稲作に象徴される、地域に根ざしたアジアの暮らしの中には、持続可能な社会づくりに向けた貴重なヒントが数多く潜んでいる。アジアの知恵を活かしたESDへの取り組みを収集する中で、私たちは市民相互の、また地域相互の学び合いが持続可能な社会づくりのために貴重な価値を持つことを確信した。国連が主導するDESJの実効を確実なものとし、持続可能な世界を実現するために、G8サミットに参加する先進各国に「持続可能な社会への実効あるメカニズム」を早急に確立すべく、以下の提案をする。

\*G8サミット各国は、持続可能な世界建設を、それぞれの国家運営の最優先課題とし、その国内外における明快な政策方針(ビジョン)を作成すること。

\*G8サミット各国は持続可能な社会に向け、それぞれの国内外に関して、時間軸を明確にした実効あるアクションプランを作成し、課題別の企画・実施・進捗管理を確実に行うこと。

\*G8サミット各国は、気候変動など持続可能な社会に向けた諸課題に、それぞれの国内外で取り組むと同時に、各課題に関する教育を、DESJの視点で包括的横断的に展開すること。

\*G8サミット各国は、経済と社会・環境の調和ある持続可能性を図るため、それぞれの国内外で、企業・市民・政府などが持続可能な社会づくりにともに継続して参画できるようにすべての関係者の対話を強化するメカニズムを用意すること。

2008年5月3日

持続可能な開発のための教育の10年推進会議(ESD-J)

提言作成参画者

インドネシア	フェリ・プリハントロ (BINTARI foundation)
インド	アトゥール・パンディア (CEE)
中国	イン・ハン (自然之友) シェン・ジュンファ (自然之友)
台湾	チャン・ヒュエイ (アースパセンジャー)
韓国	パク・ヨンヘ (LSAK) ビュンウオンジュン (トンヨン RCE)
フィリピン	エリザベス・ロハス (EBC)
日本	阿部治、大前純一、佐藤真久 (ESD-J)